

## 平成28年度 第二次研究協議会 レポート様式および内容について

石中社研究員 飯田 浩貴  
(北広島市立大曲中学校)

<共通様式>

1行目左端に「分野」を明記  
MS明朝 20ポイント  
囲み線で囲む

1行目中央に記述  
MS明朝 20ポイント

2・3・4行目右端に記述  
MS明朝 10.5ポイント

歴史

### 石教研社会科（中）部会レポート

平成28年10月14日（金）  
〇〇市立〇〇中学校  
氏名

#### 《項目例》

- 1 単元（題材）名
- 2 思考力・判断力を高めるための工夫について  
～授業の中での課題設定や展開途中での段階的な投げかけの工夫について記述してください。  
なお、今年度も単元観を詳細に書く必要はありません。
- 3 教具の活用について  
～多様化する教具の効果的な活用方法について、必要に応じて記述してください。なお、「教具」の定義については、4月に配布した「研究の概要と今年度の研究」をご参照ください。
- 4 取り扱う単元・単元の指導計画  
～本時の学習の位置づけが見える程度で十分です。
- 5 本時の略案  
～留意点や工夫を盛り込んでください。特に、学習場面のどこに「思考力・判断力を高めるための工夫」や「教具の活用の工夫」があるのかを明示してください。
- 6 実践後の評価

4月に配布した「研究の概要と今年度の研究」で提示の通り、今年度は「思考力・判断力を高める課題の設定と教具の工夫」について、先生方の実践をレポートにまとめていただきたいと思います。

レポートの基本様式および内容は上記の通りです。必ずしも《項目例》通りとする必要はありませんが、以下の点を考慮していただくと幸いです。

- ① 本時の学習の中で、「思考力・判断力を高めるための工夫」が具体的に明示されていること。
- ② 可能であれば、「教具の活用の工夫」についても触れられていること。
- ③ 視覚的にわかりやすく、読みやすい内容であること。

今年度も、夏休み中には石中社HPにプロジェクト試案をUPする予定ですので、ご活用ください。宜しく申し上げます。